⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、前年同期の2,255億円の支払超過から、11兆7,464億円の受取超過となった。収入は、前年同期（２兆3,531億円）に比べ、11兆8,705億円増加して14兆2,236億円となった。一方、支出は、前年同期（２兆5,786億円）に比べ、1,015億円減少して２兆4,772億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

保険の収支は、収入13兆3,062億円、支出20兆7,166億円、差引き７兆4,104億円の支払超過であって、前年同期の７兆2,177億円の支払超過から、1,927億円支払超過額が増加した。

３　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	令和８年度第１・四半期			前年同期		
	発行（借入）	償還	差引き	発行（借入）	償還	差引き
国債等	369,678	102,631	267,047	378,859	111,454	267,405
国債（１年超）	346,237	76,698	269,539	353,175	85,727	267,448
借入金	23,441	25,933	△ 2,492	25,684	25,727	△ 43
国庫短期証券等	872,246	939,995	△ 67,749	890,653	915,290	△ 24,637
国庫短期証券	766,246	809,995	△ 43,749	780,653	785,290	△ 4,637
一時借入金	106,000	130,000	△ 24,000	110,000	130,000	△ 20,000

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、26兆7,047億円の受取超過であって、前年同期（26兆7,405億円の受取超過）に比べ、358億円受取超過額が減少した。国債（１年超）の収支は、発行34兆6,237億円、償還７兆6,698億円、差引き26兆9,539億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入２兆3,441億円、償還２兆5,933億円、差引き2,492億円の支払超過であった。

国庫短期証券等の収支は、６兆7,749億円の支払超過であって、前年同期（２兆4,637億円の支払超過）に比べ、４兆3,112億円支払超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行76兆6,246億円、償還80兆9,995億円、差引き４兆3,749億円の支払超過であった。一時借入金の収支は、借入10兆6,000億円、償還13兆円、差引き２兆4,000億円の支払超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 3,090	△ 136,810	△ 139,900
特別会計等	6,540	117,516	124,056
財政投融資	△ 2,609	18,314	15,705
外国為替資金	117,464	△ 26,476	90,988
保険	△ 74,104	80,891	6,787
その他	△ 34,211	44,786	10,576
小計	3,450	△ 19,294	△ 15,844
国債等	267,047	2,672	269,719
国債（１年超）	269,539	△ 4,316	265,222
借入金	△ 2,492	6,989	4,497
国庫短期証券等	△ 67,749	16,622	△ 51,127
国庫短期証券	△ 43,749	34,988	△ 8,760
一時借入金	△ 24,000	△ 18,366	△ 42,367
合計	202,749	—	202,749
調整項目	△ 663	—	△ 663
総計	202,086	—	202,086

㈱１．「一般会計」には、交付税及び譲与税配付金特別会計が含まれている。

２．「調整項目」とは、国庫金が日本銀行代理店の窓口で受払される時点と、日本銀行本店の政府預金が増減する時点との時間的なズレの調整等のための項目である。

３．⑻欄以下の内訳の数字は暫定的なものであって、後に若干変更することがある。

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	令和８年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還（△）	—	—
特別会計の債券売・買（△）	△ 3,433	33,027
財政投融資	19,530	12,110
国債整理基金	△ 22,963	20,917
その他	△ 193,118	△ 191,585
計	△ 196,551	△ 158,558

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、19兆6,551億円の支払超過であって、前年同期（15兆8,558億円の支払超過）に比べ、３兆7,993億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済はなかった。なお、前年同期も、国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済はなかった。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売・買の収支は、前年同期の３兆3,027億円の受取超過から、3,433億円の支払超過となった。財政投融資の収支は、前年同期の１兆2,110億円の支払超過から、１兆9,530億円の受取超過となった。国債整理基金の収支は、前年同期の２兆917億円から、２兆2,963億円の支払超過となった。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、19兆3,118億円の支払超過であって、前年同期（19兆1,585億円の支払超過）に比べ、1,533億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（20兆2,086億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（663億円の支払超過）を除いた収支は、20兆2,749億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、19兆6,551億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（２兆1,575億円）に比べ、6,198億円増加して２兆7,774億円となった。